

学習状況診断票(国語) 中学校 第1学年

1年 組 番 氏名

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			
	大問	小問	通番		聞く能力	書く能力	読む能力	言語事項
話すこと・聞くこと	一	一	1	話し手の意図や話の内容を正しく聞くことができる。				
		二	2	どのような事実を、どのような順序で話しているかを正しく聞くことができる。				
		三	3	話し手の説明の工夫を正しく聞くことができる。				
		四	4	話し手が、どのような理由で話題を取り上げたかを正しく聞くことができる。				
読むこと	二	一	5	文章における語句の意味を正しく理解しながら読むことができる。				
		二	6	物語の展開に注意して、場面の状況を正しく理解しながら読むことができる。				
		三	7	物語の展開に注意して、言葉を正しく理解しながら読むことができる。				
		四	8	物語の展開に注意して、場面の状況を正しく理解しながら読むことができる。				
		五	9	物語の展開に注意して、主人公の心情を正しく理解しながら読むことができる。				
		六	10	文章に表れているものの見方や考え方を正しく理解しながら読むことができる。				
言語事項	一	1	11	中学校1年生までに学習した漢字を正しく読むことができる。				
		2	12					
		3	13					
		4	14					
		5	15					
		6	16	小学校6年生までに学習した漢字を正しく書くことができる。				
		7	17					
		8	18					
		9	19					
		10	20					
	二	1	21	同音異義語の言葉を正しく使うことができる。				
		2	22	文の意味を考えながら、ふさわしい語句を使うことができる。				
		3	23	漢字の部首名を正しく理解している。				
		4	24	接続語を正しく使うことができる。				
三	1	25	慣用的な表現を正しく使うことができる。					
	2	26	文の意味を考えて、正しい修飾語を使うことができる。					
	3	27						
	4	27						
書くこと	四	28	文の長さやつながり方に気をつけて、わかりやすい文章に書き直すことができる。					
	五	29	自分の考えをはっきりさせるとともに、具体的な例や体験を根拠にして、テーマについての自分の考えを決められた字数で書くことができる。					
					/4	/2	/6	/17

今後の学習に向けて *自分が頑張りたいところに○を付けましょう。

聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> 「話し手の意図を考えながら聞く」「全体と部分、事実と意見の関係に注意して聞く」など、国語の授業で学習した聞き方について、復習しましょう。 国語の授業で学習した大切な聞き方を、他教科の授業や毎日の生活で話を聞くときにも生かしましょう。
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> 最初に、自分の考えをはっきりさせ、何を伝えるかを明確にしましょう。その上で、自分の考えを伝えるためには、どのような根拠を用いると効果的かを考え、ふさわしい根拠を選び出すことが大切です。説得力のある根拠とするためには、自分の経験に基づくものが効果的です。その上で、話のまとまりごとに段落に分けて書くようにしましょう。 一度書いた文章を、読み手の側になって読み返し、わかりにくいところを書き直すことも大切です。
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> 物語を読むときには、まず、あらすじをつかみましょう。そして、文章の展開に気をつけながら、場面の状況や登場人物の心情の変化を考えながら読むことが大切です。その時、情景描写や心情描写の言葉に着目し、根拠となる表現をもとに想像するようにしましょう。 国語の授業で、自分の考えを積極的に発言したり、他の考えと比べて聞いたりしながら、自分の考えを深めるようにしましょう。
言語事項	<ul style="list-style-type: none"> 漢字については、どこが違っているかを明らかにし、正しい字で繰り返し練習することが大切です。また、読み方がわからない場合は辞典等で確かめたり、学習した漢字を使って書いたりする習慣をつけましょう。 同音異義語、接続語、慣用的な表現等については、教科書等を使って復習するとともに、本や新聞を読む機会にも表現の仕方に注意することが大切です。